

2 調査結果

共通設問

本調査は、調査対象事業者ごとに異なる調査を行っているが、一部共通設問も設けている。以下は、共通の設問を設けているすべての調査票についてとりまとめて集計した結果を示している。

なお、設問の後尾【】内に、その設問を設けている調査票の種類を、2ページの表に示した丸付き数字で表している。

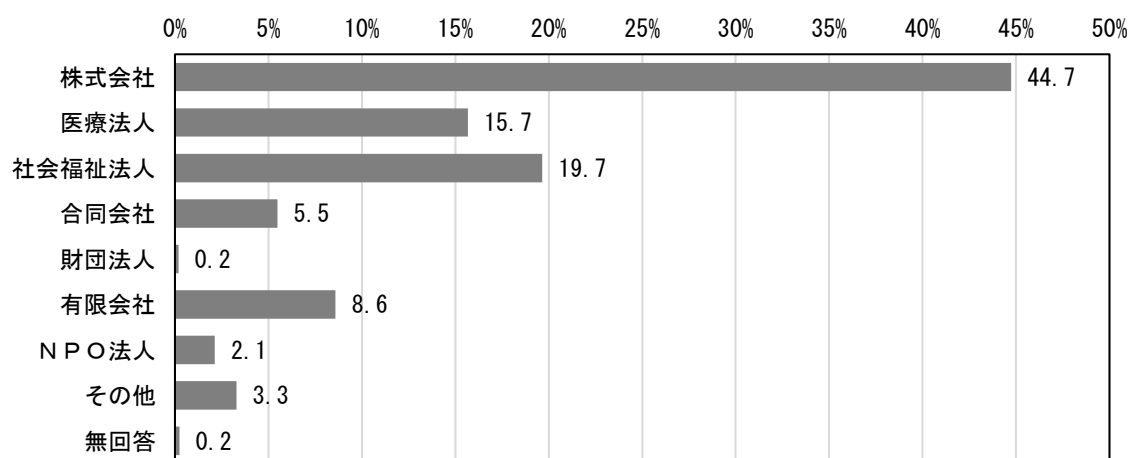
問1 事業所について

問1（1） 事業所の経営形態【①～⑭、⑰～⑲】

事業所の経営形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の経営形態については、「株式会社」が44.7%と最も高く、次いで、「社会福祉法人」が19.7%、「医療法人」が15.7%となっている。

図表0-1-1 事業所の経営形態 (N=2,061)



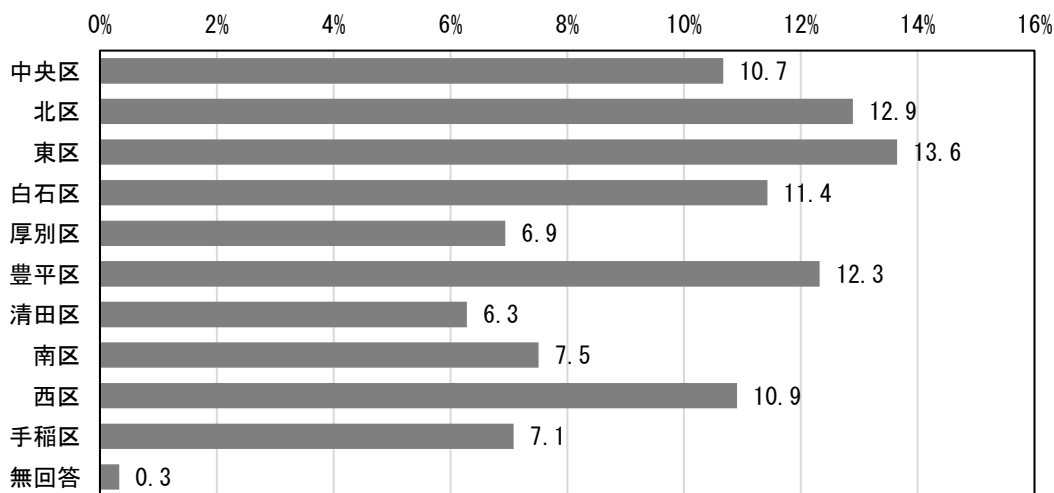
【共通設問】

問 1 (2) 事業所の所在地【①～⑱】

事業所の所在地について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の所在地については、「東区」が13.6%と最も高く、次いで、「北区」が12.9%となっている。

図表0-1-2 事業所の所在地 (N=2,118)



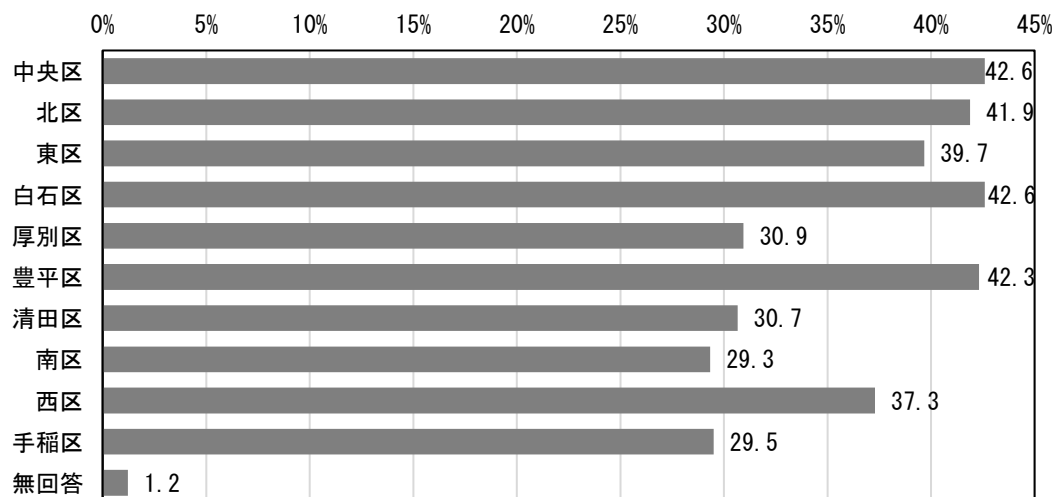
問 1 (3) サービスの提供区【①～⑭】

【複数回答】

サービスの提供区について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービスの提供区については、「中央区」、「白石区」が42.6%と最も高く、次いで、「豊平区」が42.3%、「北区」が41.9%となっている。

図表0-1-3 サービスの提供区 (N=1,810)

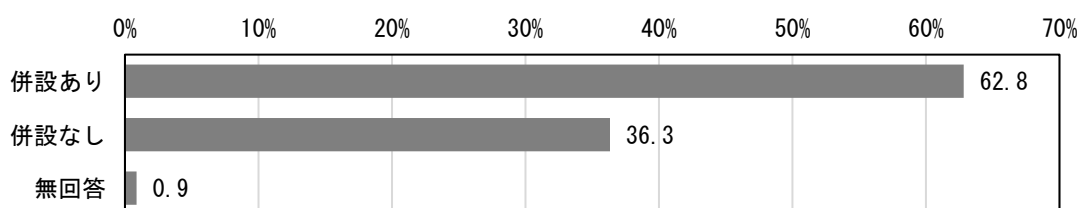


問 1 (4) 併設する介護保険サービス事業所の有無【①～⑦、⑨～⑯、⑲】

併設する介護保険サービス事業所の有無について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

併設する介護保険サービス事業所の有無については、「併設あり」が62.8%、「併設なし」が36.3%となっている。

図表0-1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無 (N=2,087)



【共通設問】

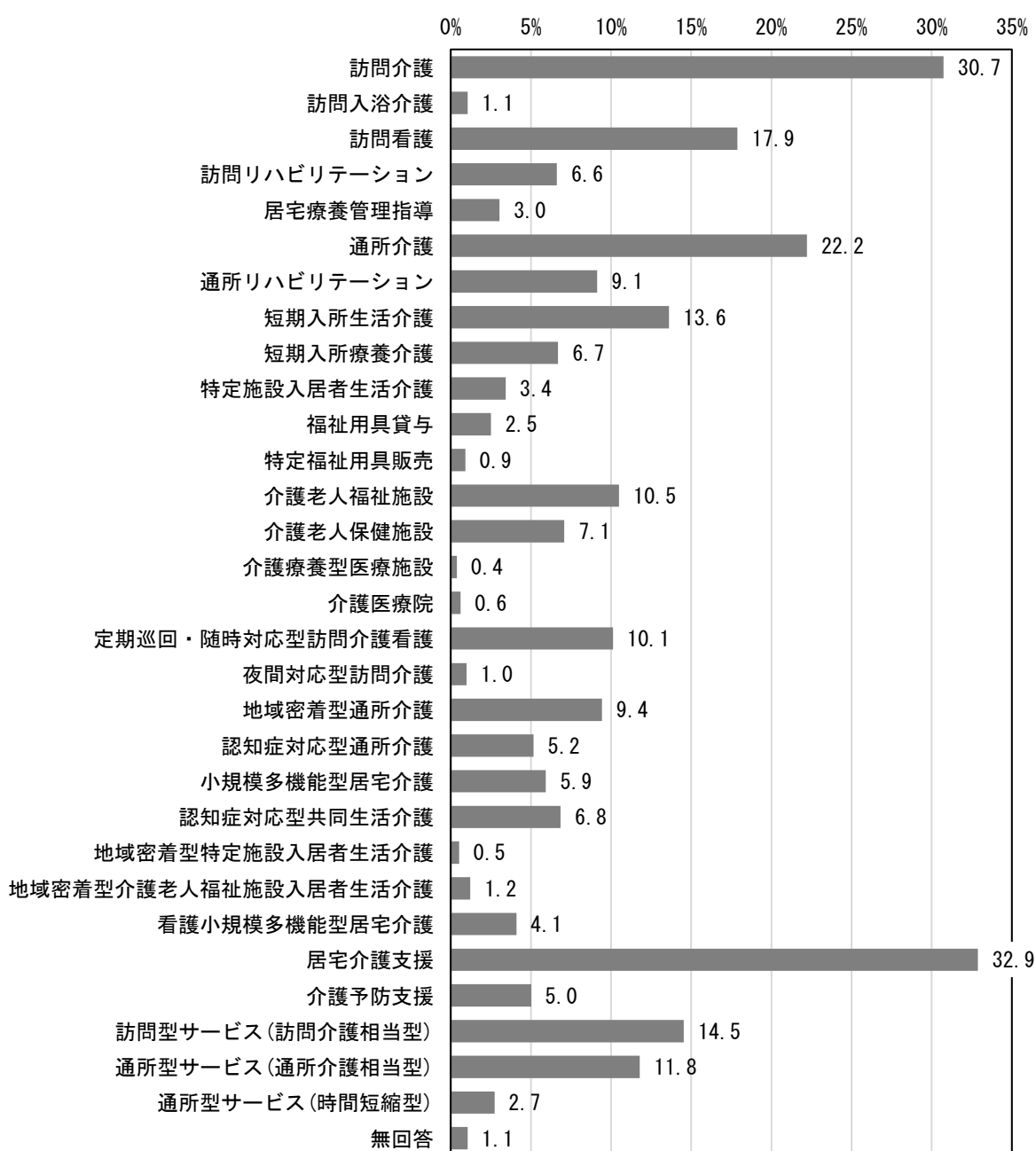
問 1 (5) 併設事業所の提供している介護保険サービス【①～⑦、⑨～⑯、⑲】

[複数回答]

併設事業所がある場合、併設する事業所が提供している介護保険サービスについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

併設事業所の提供している介護保険サービスについては、「居宅介護支援」が 32.9%と最も高く、次いで、「訪問介護」が 30.7%、「通所介護」が 22.2%となっている。

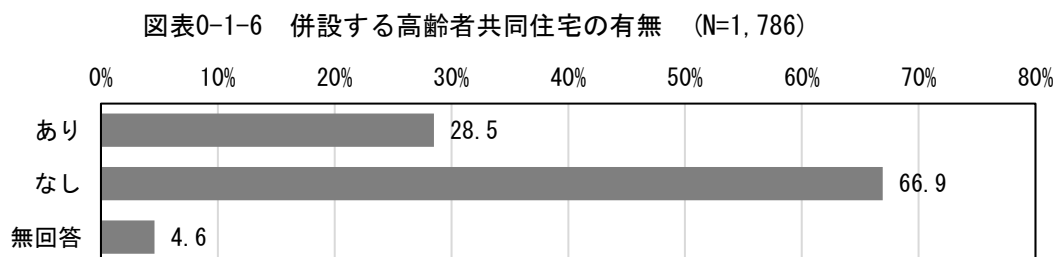
図表0-1-5 併設事業所の提供している介護保険サービス (N=1,314)



問 1 (6) 併設する高齢者共同住宅[※]の有無【①～⑦、⑨～⑭】

併設する高齢者共同住宅はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

併設する高齢者共同住宅の有無については、「あり」が28.5%、「なし」が66.9%となっている。



※「高齢者共同住宅」とは、ここでは食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指す。

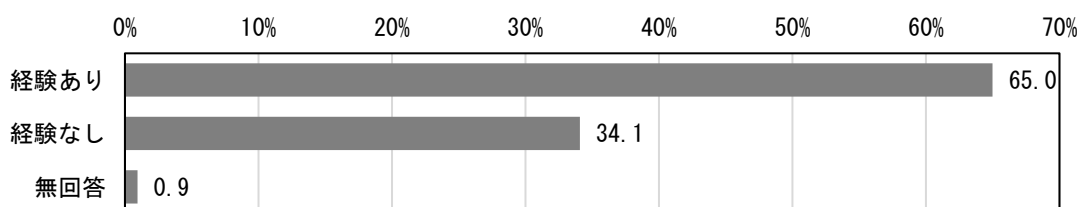
問2 サービスの提供状況等について

問2（1）ターミナルケアの取り組み経験【②⑦⑨⑩⑭⑮⑯⑰】

余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

ターミナルケアの取り組み経験については、「経験あり」が65.0%、「経験なし」が34.1%となっている。

図表0-2-1 ターミナルケアの取り組み経験 (N=1,071)

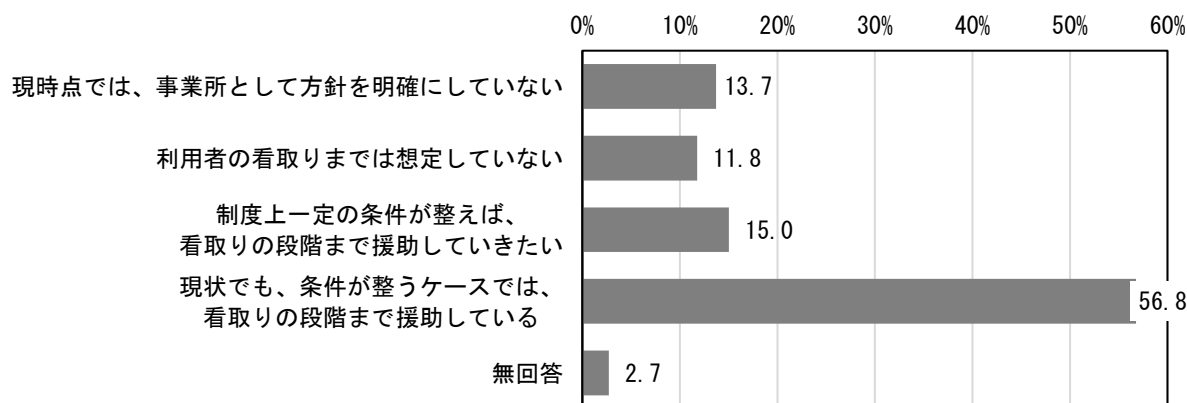


問2（2）ターミナルケアについての考え【②⑦⑨⑩⑭⑮⑯⑰】

ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

ターミナルケアについての考えは、「現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している」が56.8%と最も高く、次いで、「制度上一定の条件を整えば、看取りの段階まで援助していきたい」が15.0%となっている。

図表0-2-2 ターミナルケアについての考え (N=1,071)



問 2 (3) ターミナルケアを可能とするための必要条件【②⑦⑨⑩⑭⑮⑯⑰】

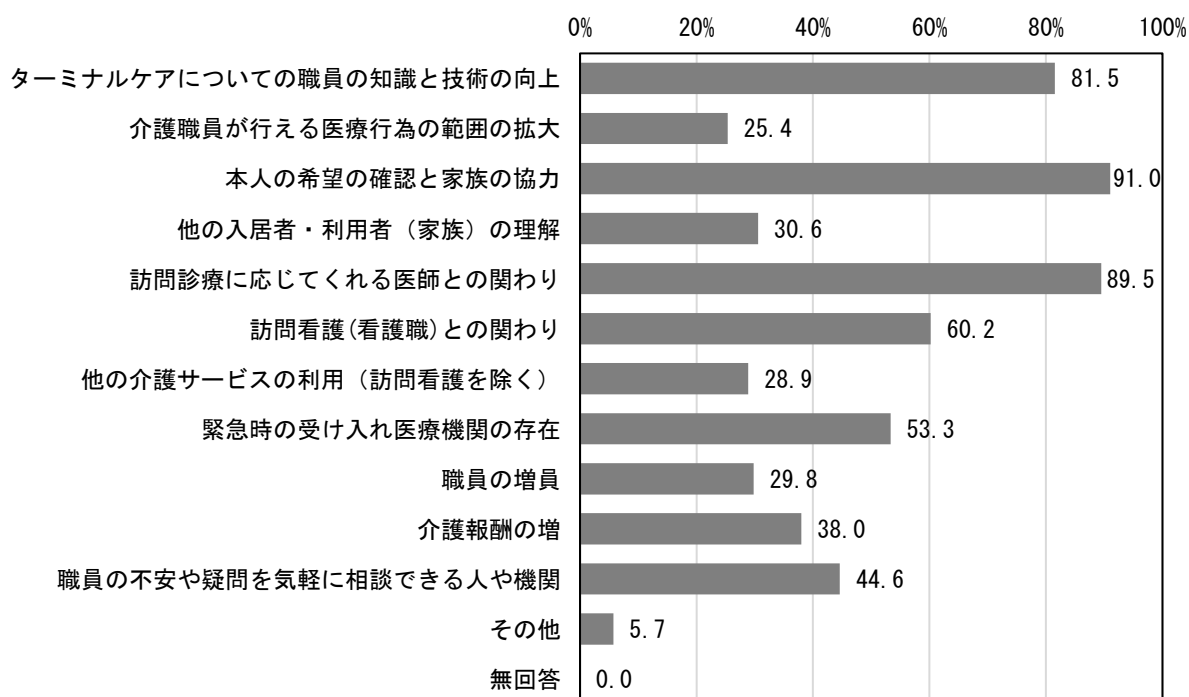
[複数回答]

(2)で「3. 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい」または「4. 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している」と答えた事業者にお聞きします。

ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

ターミナルケアを可能とするための必要条件については、「本人の希望の確認と家族の協力」が91.0%と最も高く、次いで、「訪問診療に応じてくれる医師との関わり」が89.5%、「ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上」が81.5%となっている。

図表0-2-3 ターミナルケアを可能とするための必要条件 (N=769)



問3 事業所の運営について

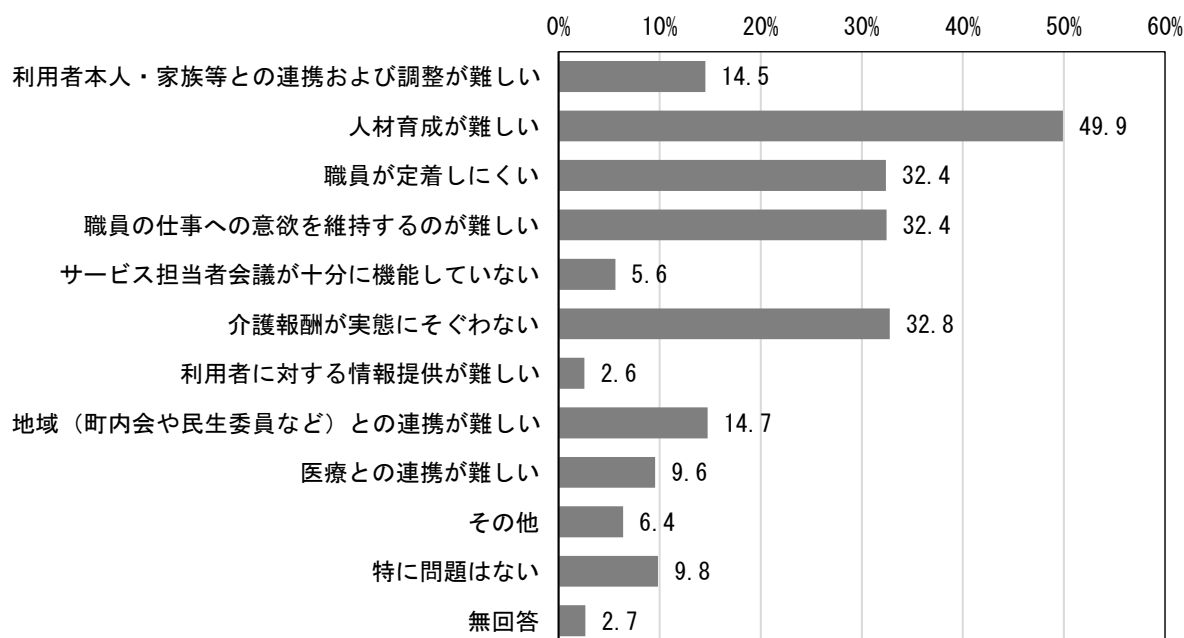
問3（1） 事業所運営に関する問題点【①～⑱】

[複数回答]

事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

事業所運営に関する問題点については、「人材育成が難しい」が49.9%と最も高く、次いで、「介護報酬が実態にそぐわない」が32.8%、「職員が定着しにくい」、「職員の仕事への意欲を維持するのが難しい」が32.4%となっている。

図表0-3-1 事業所運営に関する問題点 (N=2,118)

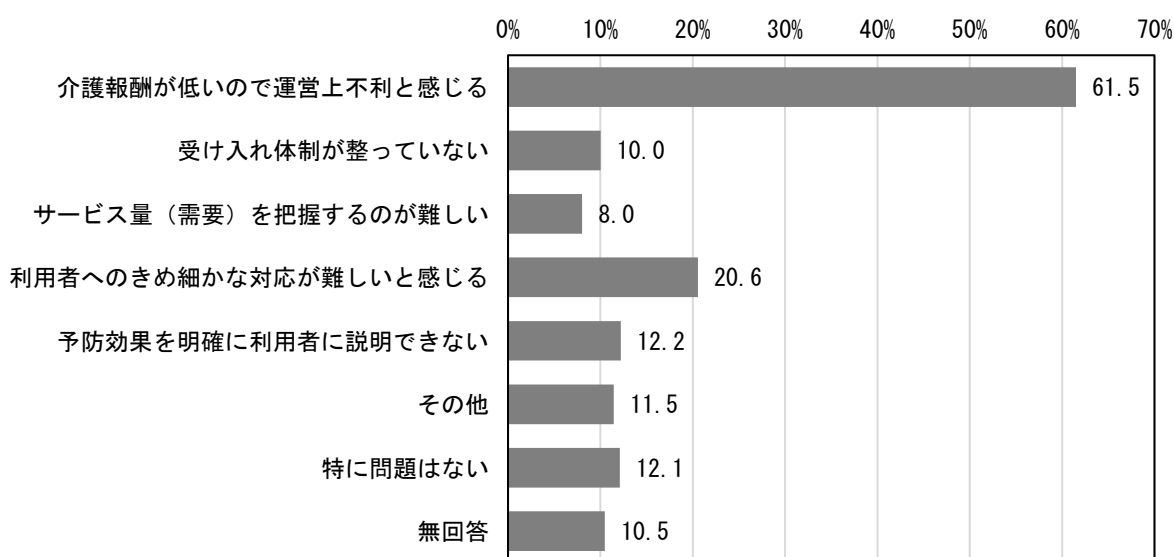


問3（2） 介護予防サービスの問題点【①～⑧、⑩～⑫、⑰】 **[複数回答]**

介護予防サービスについてお聞きします。問題点はどのようなことだと思いますか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

介護予防サービスの問題点については、「介護報酬が低いので運営上不利と感じる」が61.5%と最も高く、次いで、「利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる」が20.6%となっている。

図表0-3-2 介護予防サービスの問題点 (N=1,955)



【共通設問】

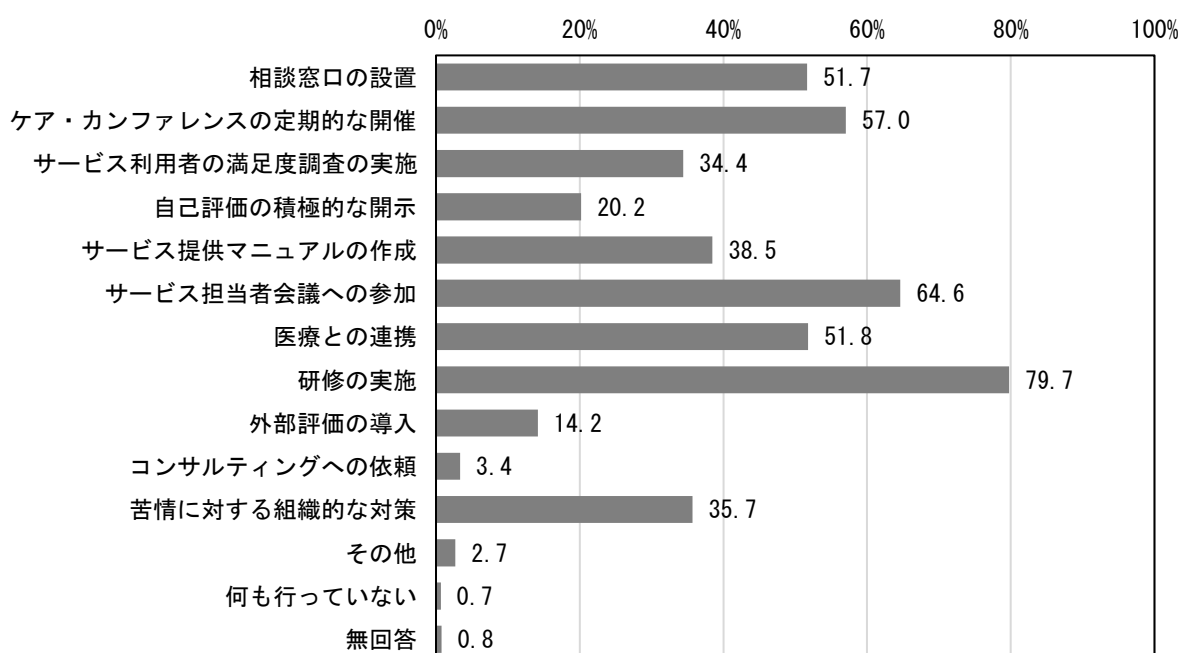
問3（3） サービスの質の向上のための取り組み【①～⑱】

【複数回答】

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

サービスの質の向上のための取り組みについては、「研修の実施」が79.7%と最も高く、次いで、「サービス担当者会議への参加」が64.6%、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」が57.0%となっている。

図表0-3-3 サービスの質の向上のための取り組み (N=2,118)



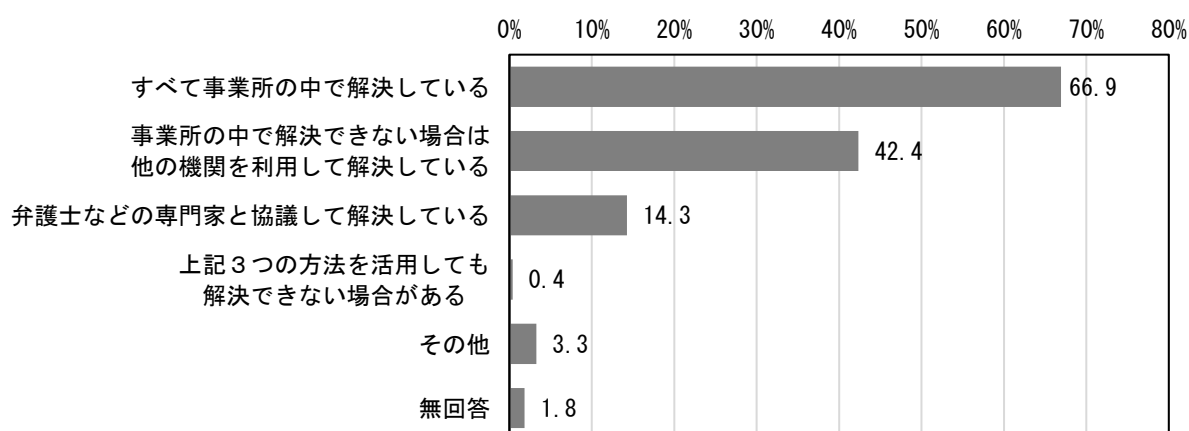
問3（4） サービス利用に関する苦情解決の方法【①～⑱】

[複数回答]

サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービス利用に関する苦情解決の方法については、「すべて事業所の中で解決している」が66.9%と最も高く、次いで、「事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している」が42.4%、「弁護士などの専門家と協議して解決している」が14.3%となっている。

図表0-3-4 サービス利用に関する苦情解決の方法 (N=2,118)



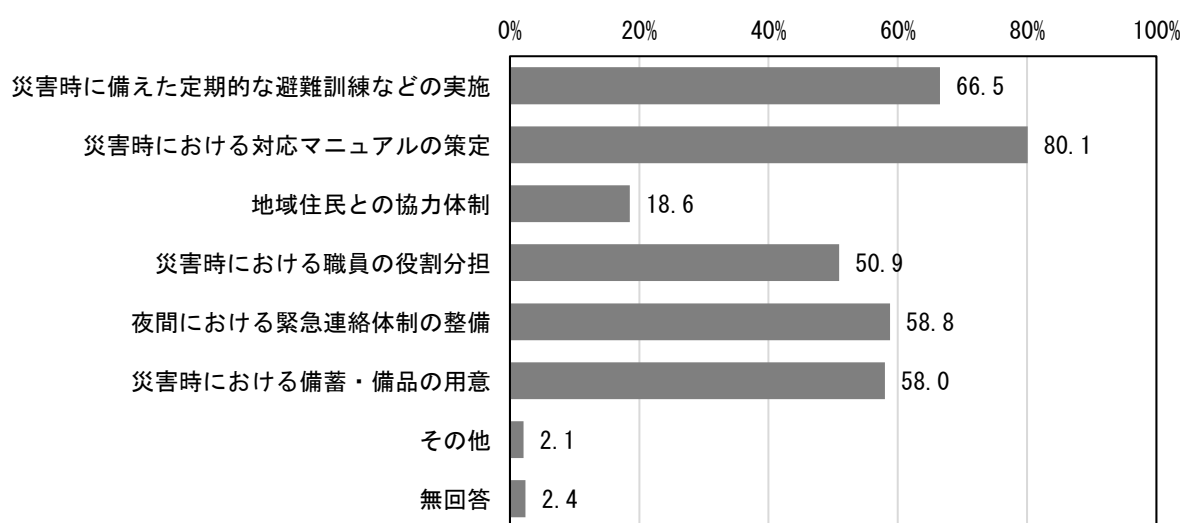
【共通設問】

問3（5） 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの【①～⑱】 [複数回答]

災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生の備えとして既に取り組んでいるものについては、「災害時における対応マニュアルの策定」が80.1%と最も高く、次いで、「災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施」が66.5%、「夜間における緊急連絡体制の整備」が58.8%となっている。

図表0-3-5 災害発生の備えとして既に取り組んでいるもの (N=2,118)

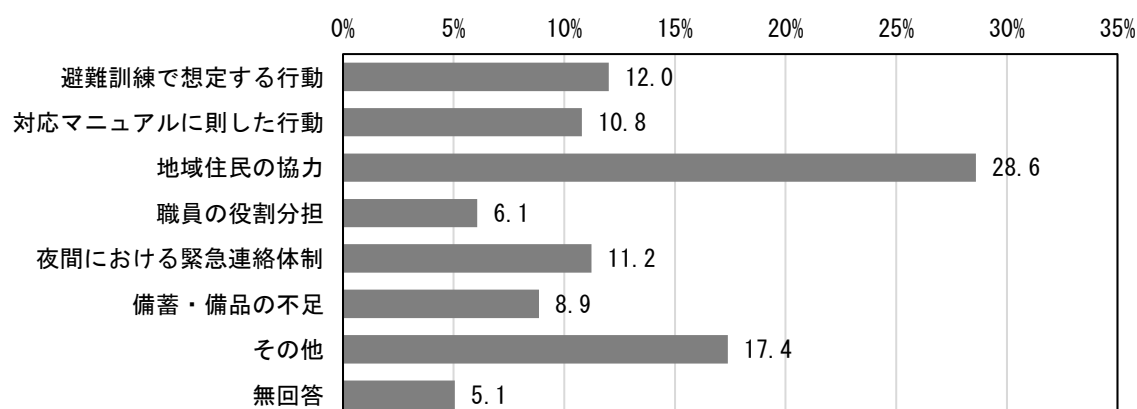


問3（6） 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの【①～⑩】

災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいものについては、「地域住民の協力」が28.6%と最も高く、次いで、「その他」が17.4%、「避難訓練で想定する行動」が12.0%となっている。

図表0-3-6 災害発生時の対策のうち取り組むのが一番難しいもの (N=1,898)



※「その他」には「避難訓練で想定する行動」、「地域住民の協力」、「夜間における緊急連絡体制」等に複数回答したものを含む。

【共通設問】

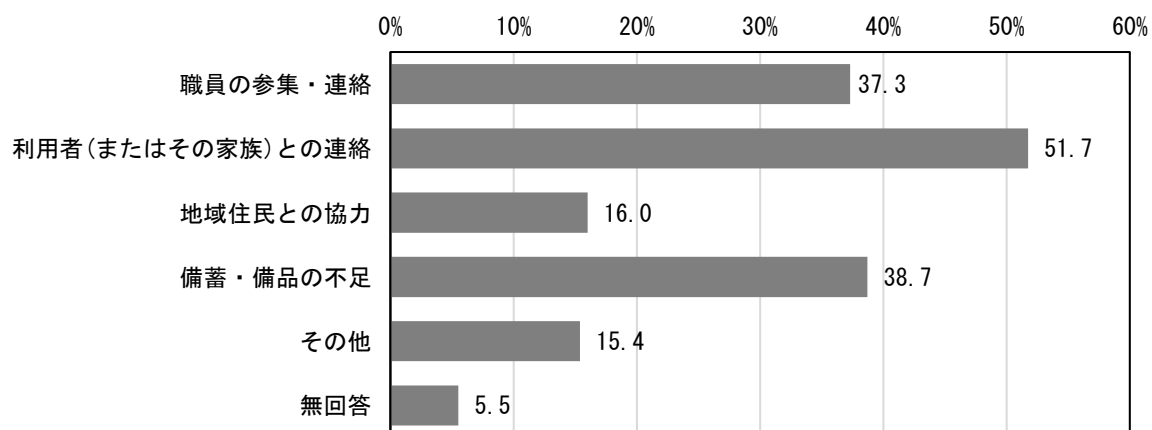
問3（7） 災害発生時に実際に困ったこと【①～⑱】

【複数回答】

災害発生時（主に昨年の北海道胆振東部地震）、実際に困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

災害発生時、実際に困ったことについては、「利用者（またはその家族）との連絡」が51.7%と最も高く、次いで、「備蓄・備品の不足」が38.7%、「職員の参集・連絡」が37.3%となっている。

図表0-3-7 災害発生時に実際に困ったこと（N=2,118）



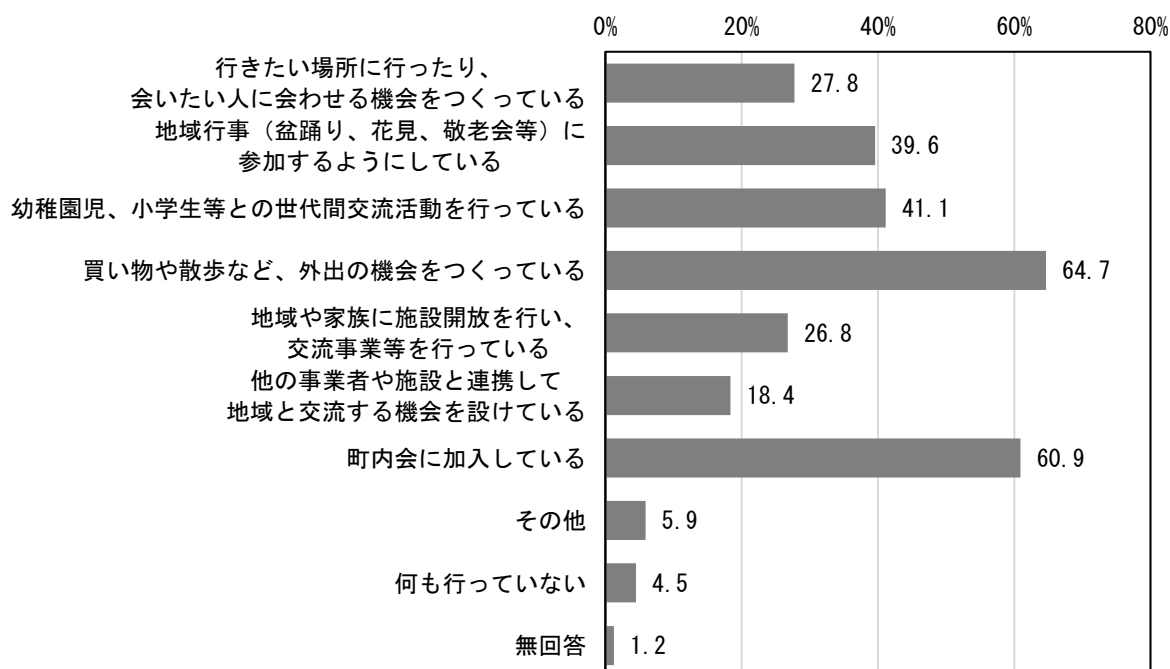
問3（8） 利用者と地域のつながりを確保するための工夫【⑤、⑥、⑨～⑱、⑲】

【複数回答】

利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行ってありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

利用者と地域のつながりを確保するための工夫については、「買い物や散歩など、外出の機会をつくっている」が64.7%と最も高く、次いで、「町内会に加入している」が60.9%、「幼稚園児、小学生等との世代間交流活動を行っている」が41.1%、「地域行事（盆踊り、花見、敬老会等）に参加するようにしている」が39.6%となっている。

図表0-3-8 利用者と地域のつながりを確保するための工夫（N=1,203）



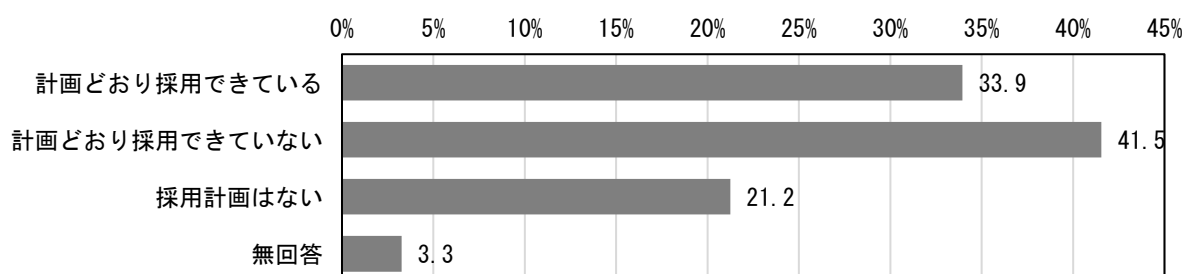
問 4 職員への対応について

問 4 (1) 職員の採用および定着状況【①～⑱】

過去1年間における職員の採用および定着状況はいかかですか。A・Bの質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

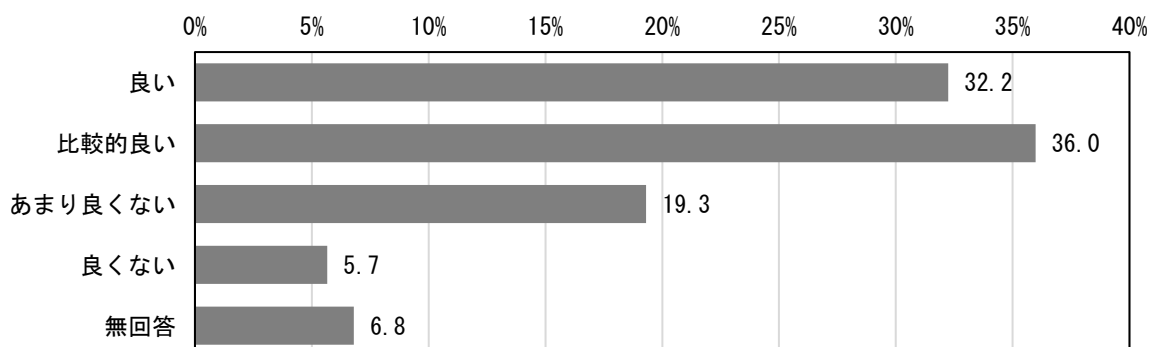
A. 常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が41.5%と最も高く、次いで、「計画どおり採用できている」が33.9%、「採用計画はない」が21.2%となっている。

図表0-4-1 A. 常勤職員の採用状況 (N=2,118)



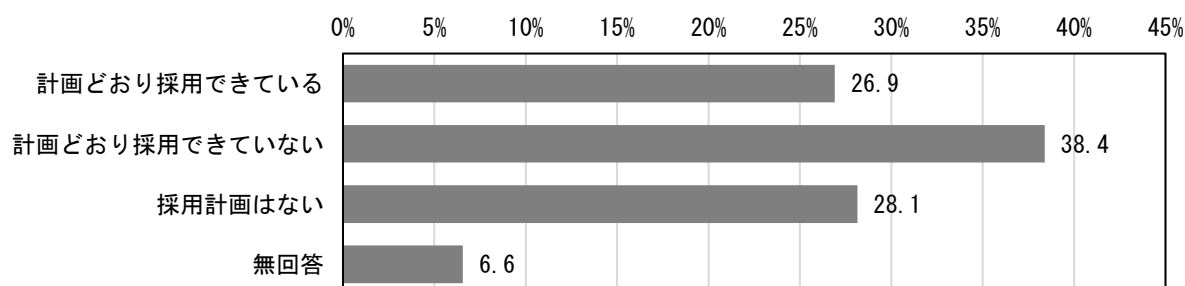
A. 常勤職員の定着状況については、「良い」と「比較的良い」を合わせた割合が68.2%となっており、「あまり良くない」と「良くない」を合わせた割合が25.0%となっている。

図表0-4-2 A. 常勤職員の定着状況 (N=2,118)



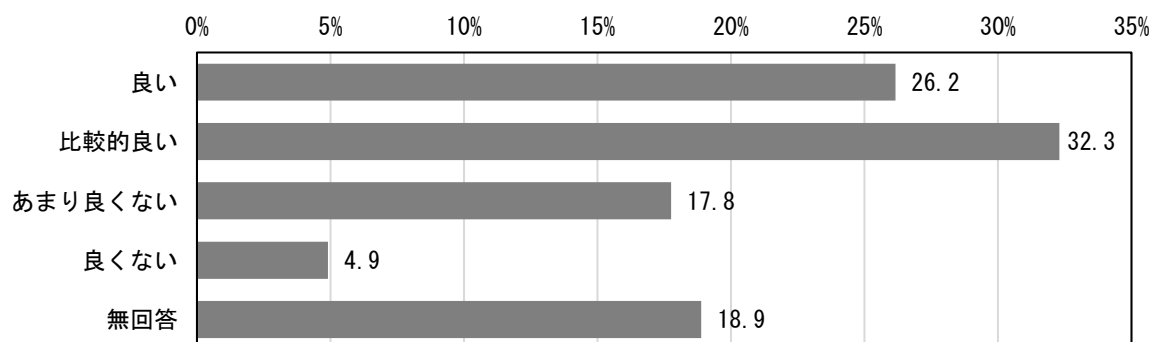
B. 非常勤職員の採用状況については、「計画どおり採用できていない」が38.4%と最も高く、次いで、「採用計画はない」が28.1%、「計画どおり採用できている」が26.9%となっている。

図表0-4-3 B. 非常勤職員の採用状況 (N=2,118)



B. 非常勤職員の定着状況については、「良い」と「比較的良い」を合わせた割合が58.5%となっており、「あまり良くない」と「良くない」を合わせた割合が22.7%となっている。

図表0-4-4 B. 非常勤職員の定着状況 (N=2,118)



【共通設問】

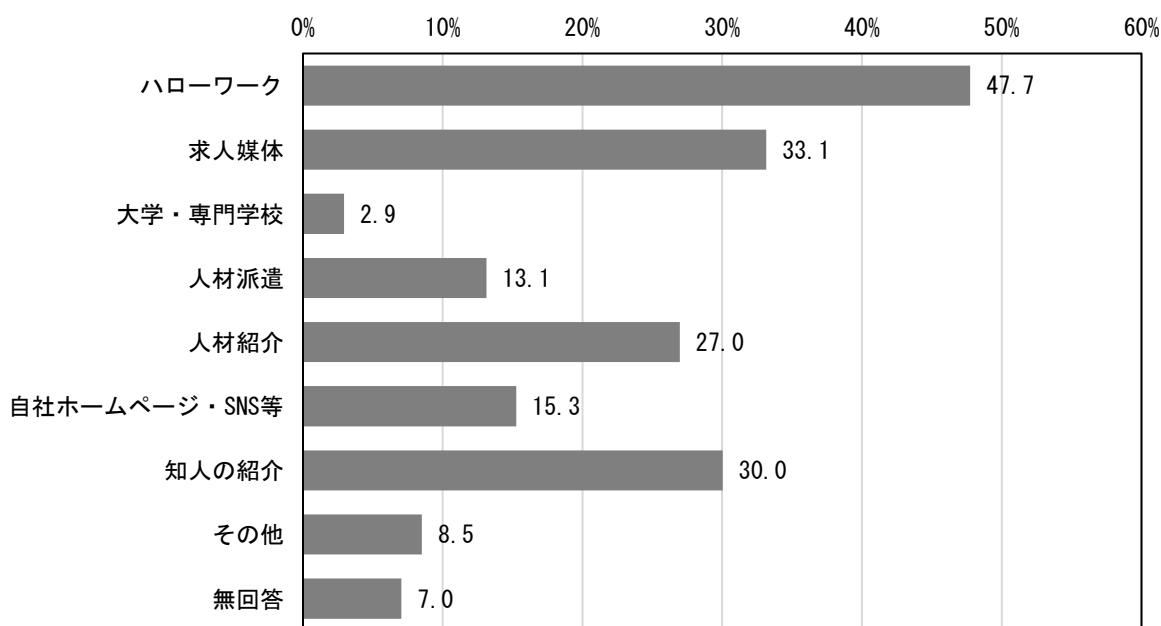
問4（1）-② 職員の募集に効果のあった方法【①~⑱】

【複数回答】

職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

効果的な職員募集の方法については、「ハローワーク」が47.7%と最も高く、次いで、「求人媒体」が33.1%、「知人の紹介」が30.0%となっている。

図表0-4-5 職員募集に効果のあった方法 (N=2,118)

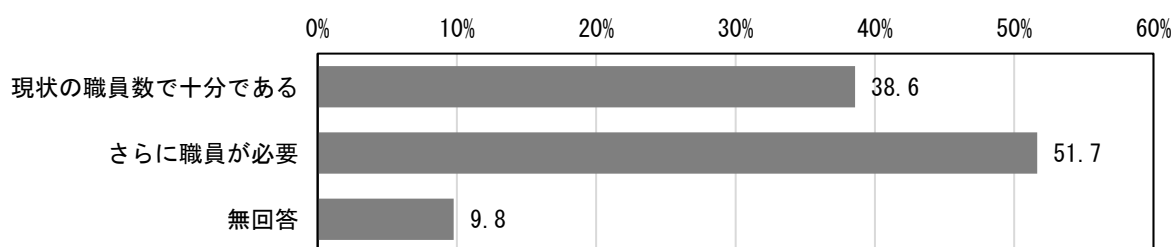


問4（1）-③ 介護サービスの職員数【①~⑱】

イ 望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

職員数に対する考え方については、「現状の職員数で十分である」が38.6%、「さらに職員が必要」が51.7%となっている。

図表0-4-6 職員数に対する考え方 (N=2,118)



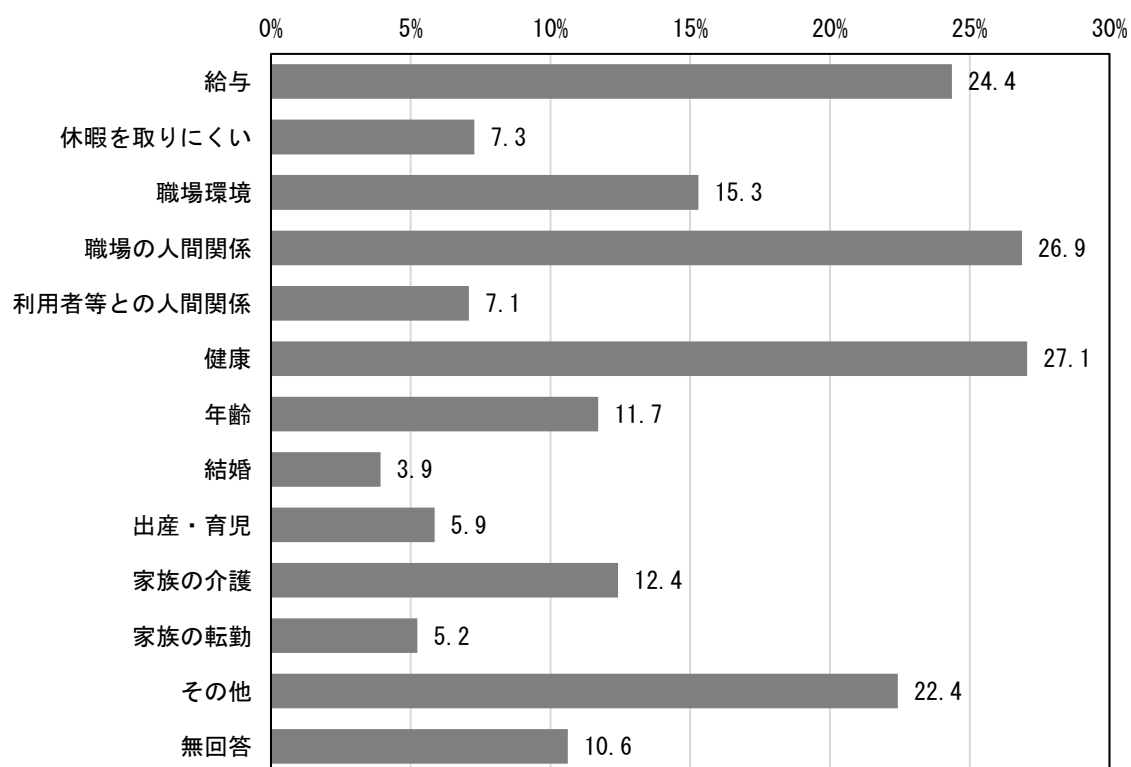
問4（2） 主な離職理由【①～⑱】

【複数回答】

貴事業所で、過去1年間に離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか。あてはまるもの3つ以内に○をしてください。

主な離職理由については、「健康」が27.1%と最も高く、次いで、「職場の人間関係」が26.9%、「給与」が24.4%となっている。

図表0-4-7 主な離職理由 (N=2,118)



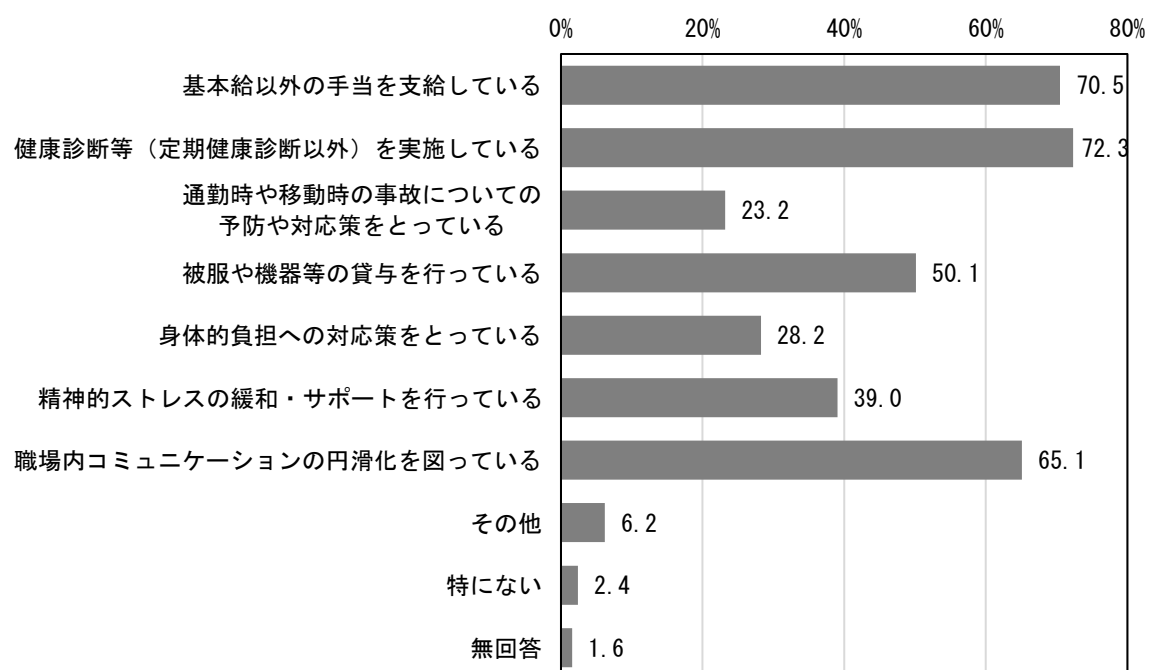
問4（3） 職員に対する配慮【①～⑱】

〔複数回答〕

職員に対して、どのような配慮を行っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に対する配慮については、「健康診断等（定期健康診断以外）を実施している」が72.3%と最も高く、次いで、「基本給以外の手当を支給している」が70.5%、「職場内コミュニケーションの円滑化を図っている」が65.1%となっている。

図表0-4-8 職員に対する配慮（N=2,118）

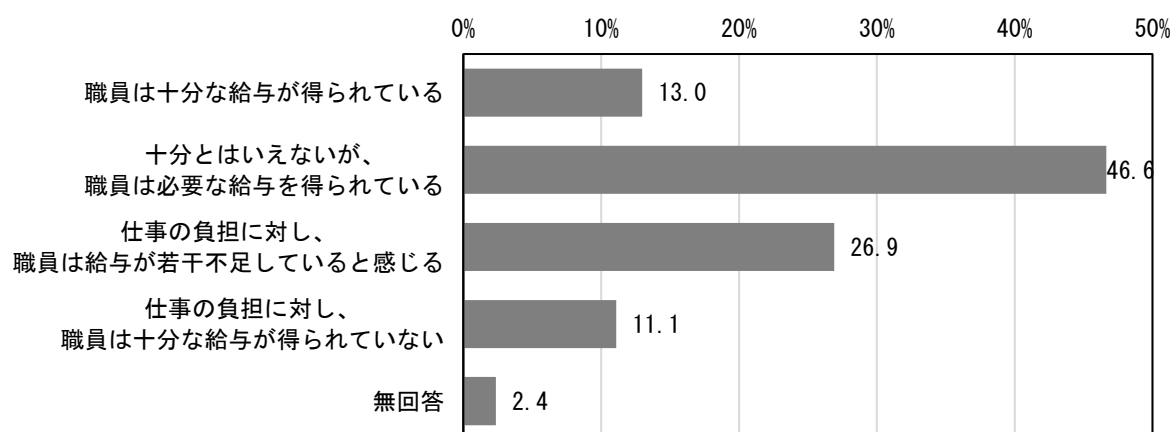


問4（4） 職員の給与【①～⑱】

職員の給与についてどうお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

職員の給与については、「十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている」が46.6%と最も高く、次いで、「仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる」が26.9%となっている。

図表0-4-9 職員の給与 (N=2,118)



【共通設問】

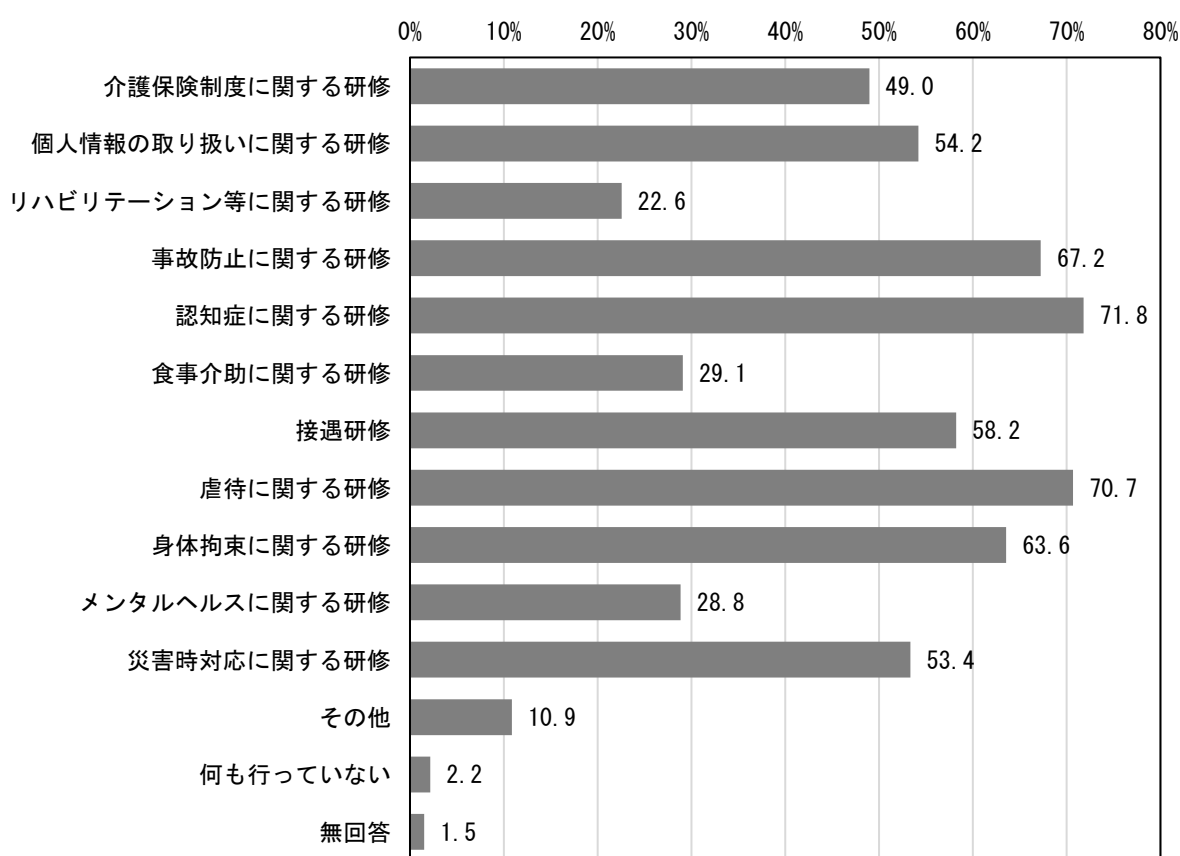
問4（5） 全職員を対象とした内部研修の実施【①～⑱】

【複数回答】

全職員を対象に実施している内部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

全職員を対象とした内部研修の実施については、「認知症に関する研修」が71.8%と最も高く、次いで、「虐待に関する研修」が70.7%、「事故防止に関する研修」が67.2%となっている。

図表0-4-10 全職員を対象とした内部研修の実施 (N=2,118)

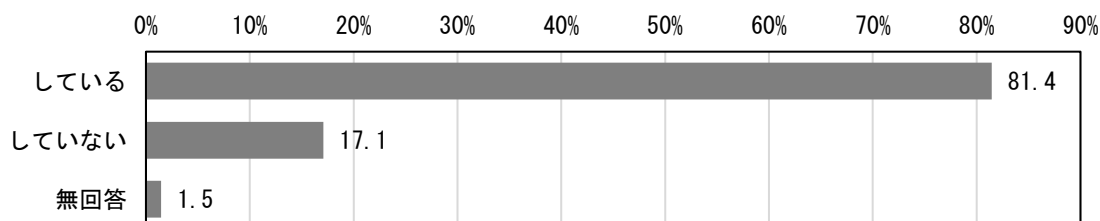


問4（6） 外部研修会等への職員の参加【①～⑱】

外部研修会等へ職員を参加させていますか。あてはまるものに○をしてください。

外部研修会等への職員の参加については、「している」が81.4%、「していない」が17.1%となっている。

図表0-4-11 外部研修会等への職員の参加 (N=2,118)

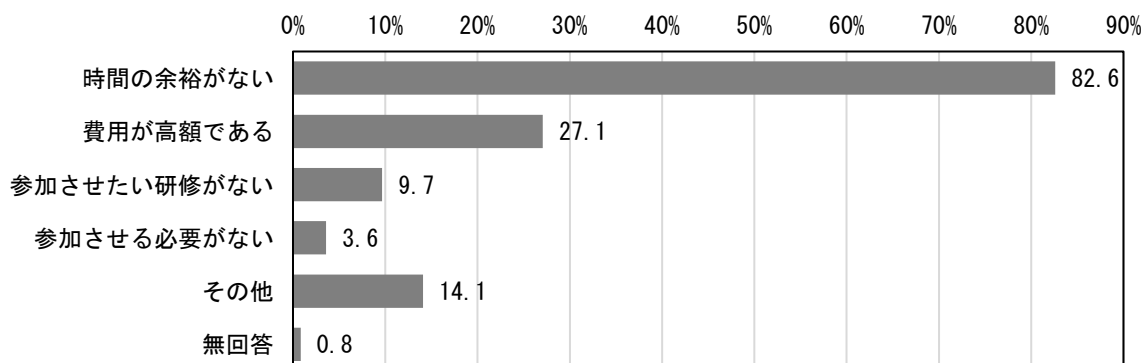


問4（7） 外部研修会等への参加をしていない理由【①～⑱】 [複数回答]

(6)で「2. していない」と答えた方にお聞きします。
外部研修会等への参加をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

外部研修会等への参加をしていない理由については、「時間の余裕がない」が82.6%と最も高く、次いで、「費用が高額である」が27.1%となっている。

図表0-4-12 外部研修会等への参加をしていない理由 (N=362)



問4（8） 職員に受けさせたい外部研修【①～⑱】

[複数回答]

職員に受けさせたい外部研修は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

職員に受けさせたい外部研修については、「管理者・リーダー層の養成に関する研修」が54.3%と最も高く、次いで、「認知症に関する研修」が52.1%、「接遇研修」が49.4%となっている。

図表0-4-13 職員に受けさせたい外部研修 (N=2,118)

